

PAT-NO: JP411096217A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11096217 A

TITLE: PERSONAL ASSET MANAGEMENT SYSTEM

PUBN-DATE: April 9, 1999

INVENTOR- INFORMATION:

NAME
MATSUO, SHUNICHIRO
KUBO, KUNIYASU

ASSIGNEE- INFORMATION:

NAME	COUNTRY
THE YASUDA TRUST & BANKING CO LTD	N/A
KK PFPS KENKYUKAI	N/A

APPL-NO: JP09256543

APPL-DATE: September 22, 1997

INT-CL (IPC): G06F017/60

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To decide a plan concerning inheritance and business succession based on an evaluation result by appropriately evaluating the value of personal assets.

SOLUTION: This system is constituted of an information input part where whole information required for the management of the personal assets is inputted, a database where respective kinds of information required for evaluating the personal assets is stored, an evaluating part 3 for evaluating the personal assets based on information which is stored in the database 2, an inheritance plan generating part 4 for deciding na inheritance portion about an individual inheritance person and an information output part 5 for outputting information which is inputted, stored or decided. Then, the value of the personal assets, which is inputted from the information input part is evaluated by the evaluating part 3 through the use of data stored in the database 2 and a calculation formula, the plan of inheritance, etc., is decided based on an

BEST AVAILABLE COPY

evaluation result and a simulation is executed.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-96217

(43) 公開日 平成11年(1999)4月9日

(51) Int.Cl.⁶

G 06 F 17/60

識別記号

F I

G 06 F 15/21

Z

審査請求 未請求 請求項の数8 O.L (全4頁)

(21) 出願番号 特願平9-256543

(22) 出願日 平成9年(1997)9月22日

(71) 出願人 397017168

安田信託銀行株式会社

東京都中央区八重洲1丁目2番1号

(71) 出願人 597134762

株式会社ビーエフビーエス研究会

東京都中央区日本橋小網町3-14

(72) 発明者 松尾 俊一郎

千葉県松戸市新松戸3丁目296番地サンラ
イトバストラル壱番地C棟-1007号

(72) 発明者 久保 國泰

神奈川県茅ヶ崎市浜竹3-4-32

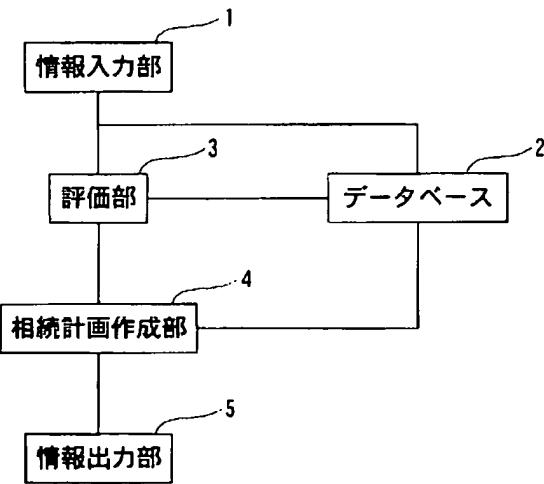
(74) 代理人 弁理士 佐々木 功 (外1名)

(54) 【発明の名称】 個人資産の管理システム

(57) 【要約】

【課題】個人が所有する資産の価値を的確に評価し、評価結果に基づいて相続、事業承継についての計画を策定する。

【解決手段】個人資産の管理に必要な全ての情報が入力される情報入力部と、個人資産を評価するために必要な各種情報が蓄積されるデータベースと、データベースに蓄積された情報に基づいて個人資産を評価する評価部と、評価部による評価結果に基づき、個々の相続人についての相続割合を策定する相続計画作成部と、入力、蓄積または策定された情報を出力する情報出力部とからなるシステムを構成し、情報入力部から入力された個人資産の価値を、データベースに蓄積されたデータや計算式を用いて評価部において評価し、評価結果に基づいて、相続等の計画を策定し、シミュレーションする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 個人資産の管理に必要な全ての情報が入力される情報入力部と、

個人資産を評価するために必要な各種情報が蓄積されるデータベースと、

該データベースに蓄積された情報に基づいて個人資産を評価する評価部と、

該評価部による評価結果に基づき、個々の相続人についての相続割合を策定する相統計画作成部と、

前記入力、蓄積または策定された情報を出力する情報出力部とからなる個人資産の管理システム。

【請求項2】 資産管理に必要な情報は、

少なくとも、特定された個人が所有する資産と、その個人の家系図に対応する家族構成と、個人資産の価値を評価するために必要な各種情報である請求項1に記載の個人資産の管理システム。

【請求項3】 情報出力部は、

少なくとも、入力、蓄積または作成された情報を表示する表示部と、その表示された情報を印刷できる印刷部とを有する請求項1に記載の個人資産の管理システム。

【請求項4】 評価部には、

個人資産の価値を評価するために必要な各種情報に基づき、個人資産の価値を演算する演算手段が設けられている請求項1に記載の個人資産の管理システム。

【請求項5】 評価部は、演算手段による演算結果に基づき、個人資産の価値をシミュレートするようにした請求項4に記載の個人資産の管理システム。

【請求項6】 個人資産の価値を評価するために必要な各種情報は、

その時々の状況の変動により修正することができる請求項1または4に記載の個人資産の管理システム。

【請求項7】 任意の年数後の個人資産の価値を評価できるようにした請求項1に記載の個人資産の管理システム。

【請求項8】 評価部は、個人が所有する不動産または資金の運用についての計画を策定するようにした請求項1に記載の個人資産の管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、個人資産の価値を適正に評価した上で、個人別に資産の相続、運用、事業承継等に関する計画を立案できるようにした個人資産の管理システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】個人が所有する土地、株式等の資産は、通常その個人自身が管理、運用し、相続、事業承継等の承継を行う場合にも、個人の判断や法律で決められた範囲で相続の割合または事業の承継等が決定されているのが実情である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、土地、株式等の資産の価値は、社会状況の変化と共に変動するものであり、経済成長率、地域別公示地価、物価上昇率等のデータが公的機関によって発表されてはいるが、個人において、これらの発表されたデータを勘案して個人資産の価値を的確に把握し、評価するのは極めて困難である。

【0004】また、資産を相続、事業承継する場合においては、相続割合等についてのトラブルが発生することが多く、しかも、財産（資産）分与後における相続税、贈与税等の計算も容易ではないことから、その後においても資産の管理・運用に種々の問題点が生ずるようになる。

【0005】このように、個人資産を管理するに当たっては、個人が所有する資産の価値を的確に把握して評価し、評価結果に基づいて相続や事業承継等に関する計画を予め策定することにより、資産を有効に活用、承継して、後に生ずるおそれのあるトラブルを未然に防止することに解決しなければならない課題を有している。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するための具体的手段として本発明は、個人資産の管理に必要な全ての情報が入力される情報入力部と、個人資産を評価するために必要な各種情報が蓄積されるデータベースと、該データベースに蓄積された情報に基づいて個人資産を評価する評価部と、該評価部による評価結果に基づき、個々の相続人についての相続割合を策定する相統計画作成部と、入力、蓄積または策定された情報を出力する情報出力部とからなる個人資産の管理システムを提供するものである。

【0007】そして、資産管理に必要な情報は、少なくとも、特定された個人が所有する資産と、その個人の家系図に対応する家族構成と、個人資産の価値を評価するために必要な各種情報であること、情報出力部は、少なくとも、入力、蓄積または作成された情報を表示する表示部と、その表示された情報を印刷できる印刷部とを有すること、評価部には、個人資産の価値を評価するために必要な各種情報に基づき個人資産の価値を演算する演算手段が設けられていること、評価部は、演算手段による演算結果に基づき、個人資産の価値をシミュレートするようにしたこと、個人資産の価値を評価するために必要な各種情報は、その時々の状況の変動により修正することができること、任意の年数後の個人資産の価値を評価できるようにしたこと、評価部は、個人が所有する不動産または資金の運用についての計画を策定するようにしたこと、を付加的要件とするものである。

【0008】このような個人資産の管理システムによれば、個人では評価の困難な資産価値を迅速かつ客観的に評価することができ、評価結果に基づいて、個人のニーズに応じて相続や事業承継または資産の運用等に関する

計画を策定することが可能となる。

【0009】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態について図1を参照して説明する。図1は、本発明の構成を表したものであり、相続、事業承継、不動産や資金の運用等に関する計画を策定するために行われる個人資産の評価に必要な情報を入力する情報入力部1と、個人資産を評価するために必要な各種情報が蓄積されているデータベース2と、データベース2に蓄積された情報に基づいて個人資産を評価する評価部3と、評価部3による個人資産の評価結果に基づいて、当該個人資産の相続割合を策定する相統計画作成部4と、入力、蓄積または策定された情報を出力する情報出力部5とからなり、具体的には、コンピュータにキーボードやマウス、ディスプレイ装置、プリンタ等の入出力機器が接続された構成となっている。

【0010】情報入力部1は、例えば、キーボード、マウス等の各種入力装置からなり、ここから入力される情報としては、資産の所有者である個人名、その個人の家族構成等の家系図と、その個人が所有する資産、例えば土地の場所や面積、経営する会社の業種、従業員数、資本金、総発行株数、所有株数などである。

【0011】データベース2は、例えば、コンピュータに内蔵されるハードディスク装置等の大容量の記録装置からなり、ここには、土地の価値を評価するために必要な情報である地域別公示地価や路線価、株式の評価に必要な情報である国税庁が発表する類似業種比準価格等の公的機関が発表する各種データや、金融商品一覧等の資産運用に必要な各種の情報が入力され蓄積される。また、公的機関から新たなデータが発表された場合や、金融商品の利率が変動した場合等には、情報入力部1から新たな情報を入力して蓄積された情報を修正、更新することができる。

【0012】評価部3は、データベース2に蓄積された情報に基づいて個人資産を評価する機能を備えており、データベース2に記録されたデータや予め設定した計算式に従って個人資産を評価する演算手段を有し、また、演算結果に基づいて種々のシミュレーションを行うことができるもので、コンピュータ内部のCPUやメモリによって構成される。

【0013】相統計画作成部4は、情報入力部1から入力された家族構成及び家系図に従って適正な法定相続人を特定すると共に、評価部3による個人資産の評価結果に基づいて当該個人資産の相続割合やそのときの相続税等を算出して合理的な相統計画を作成するものであり、CPUやメモリにより構成される。

【0014】情報出力部5は、例えばCRTディスプレイ装置等の表示手段により構成され、情報入力部1から各種情報の入力を行う際の入力画面、情報入力部1から入力された情報、データベース2に蓄積された情報、相

統計画作成部4によって作成された相統計画等を表示して出力するものである。また、プリンタ等の印刷手段も含まれ、必要に応じて前記種々の情報を印刷することもできる。

【0015】このように構成される個人資産の管理システムを用いて、個人資産の相続割合や資金運用プラン等を策定するときは、まず、個人別の資産カルテを作成する。資産カルテを作成する際は、最初に個人名、住所、家族構成、家系図等のプロフィールを情報入力部1から10入力する。

【0016】家系図に基づき相続人の特定がなされ、相統計画作成部4によって相続関係の全体像が把握されると、評価部3がデータベース2から相続に関する計算式を読み出し、読み出された計算式によって、演算手段による演算によって相続税計算の基礎となる一次相続、二次相続の法定相続分及び遺留分が確定して、情報出力部5に画面表示される。

【0017】次に、個人が所有する資産についての情報を情報入力部1から入力する。ここで入力される情報としては、その個人が所有する土地の所在地、場所、面積や、経営する会社の業種、従業員数、資本金、総発行株数、所有株数等の他に、ゴルフ会員権その他の会員権等もある。これらの情報は、資産価値の計算や各種シミュレーションの基礎となるものである。

【0018】ここで、例えば土地に関する情報を入力すると、評価部3によって当該土地の所在地の路線価、公示地価等がデータベース2から読み出されて自動的に評価額が算出される。また、10年後における評価額も自動的に表示され、任意の年数後の評価額も算出可能である。更に、家屋、構築物等の評価も可能である。

【0019】次に、自社株式の評価を行うために必要な情報を情報入力部1から入力する。まず、会社の業種、従業員数、総資産等を入力すると、評価部3において一定の基準に基づいて会社規模を大、中、小等に区分して判定する。次に、資本金、総発行株数、所有株数、一株当たりの配当金等を入力すると、評価部3によって資本の部の合計が算出され、相続税評価額が算出される。また、類似業種株価の平均が表示され、自社の平均株価、発行株式数を入力すると、評価部3によって純資産価格、類似業種価格、配当還元価格が自動的に算出される。

【0020】更に、有価証券、預貯金、事業用資産、家庭用財産、退職金、借入金等も財産額として入力する。これらを入力すると、任意の年数後の予想財産額も自動的に算出される。

【0021】以上入力した各種情報は、ハードディスク装置等に保存しておくことにより、画面上で指定するだけで、必要な情報をいつでも取り出して表示させることができ、また、相統計画を策定するための基礎データとなる。そして、作成された家系図と入力された資産に関50

5

する情報を基にして、データベース2から必要に応じて計算式やデータが読み出され、相続計画作成部4において法定相続割合、遺言分割割合、相続税等が計算される。そして、算出された情報は、情報出力部5の画面上に表やグラフで表示される。また、遺言書の文例をシミュレーションして表示させることもできる。

【0022】具体的にどのように相続を行っていくかについての承継プランが作成されるに当たっては、まず、納税原資対策として、事前贈与、小規模宅地の特例の適用の可否、二次相続まで含めた配偶者相続割合等が検討される。例えば、事前贈与の場合、贈与する人数と年数を入力すると、その年数経過後の資産予想額がシミュレートされて表示され、最適な贈与計画を策定することができる。また、小規模宅地の適用、配偶者相続割合等についても同様に必要な情報を入力すれば、シミュレートされて最適な計画を策定することができる。

【0023】また、事業承継についての最適計画を策定するときには、事業承継者への相続割合、相続人数、配分方法を入力すると、相続計画作成部4において役員退職慰労金、会社への資産売却、会社への自社株売却等に関するシミュレーションが行われ、事業承継に関する有利な計画を策定することができる。

【0024】最後に、事業承継の考え方のポイント、進め方、問題点の抽出、具体策がまとめられる。具体策に

6

ついては、対策ごとに発生する税コストがシミュレーションされる。

【0025】相続や事業承継の他にも、不動産の売却、買い換え等のシミュレーションや関連法規の表示、資金の運用に関してポートフォリオ、各種金融商品の利回り計算等を表示させることができる。

【0026】

【発明の効果】以上説明したように、本発明に係る個人資産の管理システムによれば、個人では評価の困難な資産価値を迅速かつ客観的に評価することができ、評価結果に基づいて、個人のニーズに応じた相続や事業承継の計画を策定することが可能となる。従って、かかる策定された計画によって、相続等に関するトラブルが発生するのを未然に防止することができるばかりでなく、その後に発生する税金対策等も予め知ることができ、資産の管理・運用を好適に行うことができる。

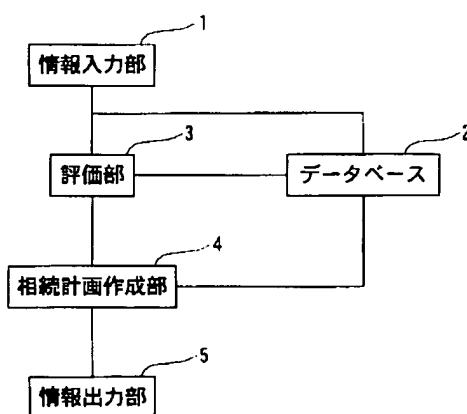
【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る個人資産の管理システムの構成を示す機能ブロック図である。

【符号の説明】

1：情報入力部 2：データベース 3：評価部 4：相続計画作成部
5：情報出力部

【図1】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.